LION

保存用

事務用断裁機

No.601N・No.603N・No.615

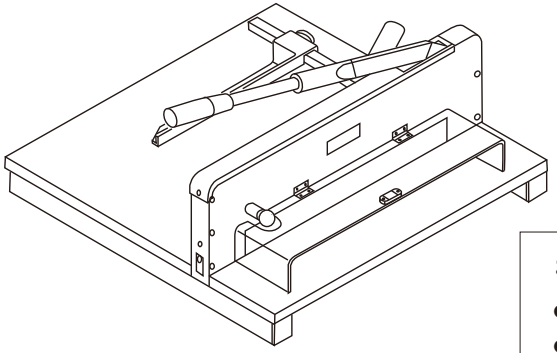
取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、ライオン事務用断裁機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

なお、この取扱説明書は大切に保存してください。



もくじ

- 安全上のご注意 …… 1
- 各部のなまえ …… 2
- 仕様 …… 3
- 使用方法 …… 3
- 受木の交換方法 …… 4
- 断裁刃の研磨について …… 4
- 断裁刃の交換方法 …… 4
- 修理を依頼される前に …… 5
- お手入れ方法 …… 5
- その他 …… 5

安全上のご注意

安全にお使いいただくために

ここに表示された注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害・財産への損失を未然に防ぐものですから、必ずお守りください。

⚠警告	この注意事項を守らなければ、死亡又は重傷などを負う可能性があります。	⚠注意	この注意事項を守らなければ、傷害を負うか又は物的損害が生じる可能性があります。

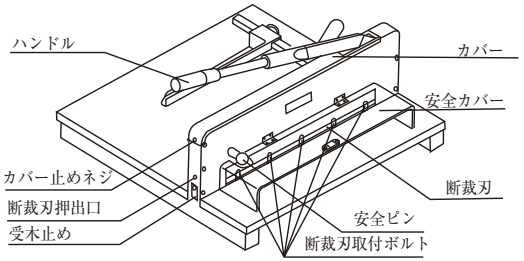
⚠ 警 告

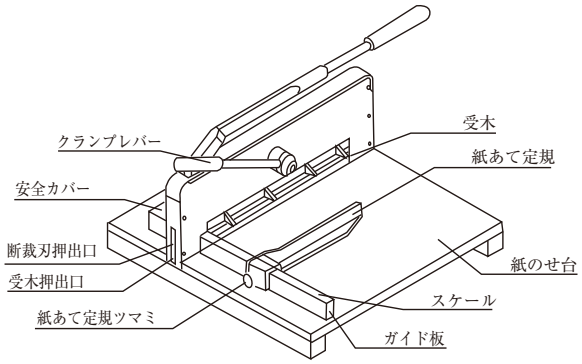
- 刃の下には絶対に手を入れないでください。また、安全装置が付いていますので、取扱説明書を必ず読んでから使用してください。けがのおそれがあります。
- お子さまの手の届かないところに設置してください。また、ぐらついたりする不安定な場所には設置しないでください。けがのおそれがあります。
- 設置・移動は本体の底部を持って、二人以上で行ってください。刃の開口部には絶対に手をかけないでください。けがのおそれがあります。
- 安全装置を絶対に取りはずさないでください。また、刃・受木の交換は取扱説明書の手順にしたがってください。けがのおそれがあります。

⚠ 注 意

- 必ず表示の枚数（P2の仕様欄参照）以下で使用してください。無理をすると、故障やけがの原因となることがあります。
- 用紙以外のもの、スラープラ針・クリップ等の異物の付いた用紙に使用しないでください。無理に裁断をすると故障したり、けがの原因となることがあります。
- 使用後は、必ずハンドルを最大限押し上げて安全装置をロックの状態にしてください。ロックしないとけがの原因となることがあります。
- 湿度の高い場所やホコリの多い場所での使用は避けてください。刃部や機構部品が錆びたりして故障やけがの原因となることがあります。
- ご自分での修理・分解・改造は絶対にしないでください。けがの原因となることがあります。

各部のなまえ



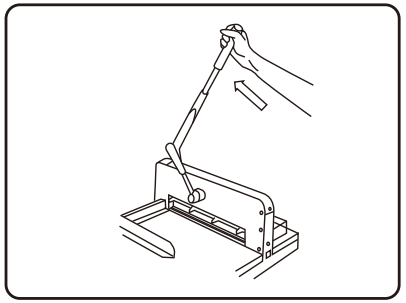


仕　様

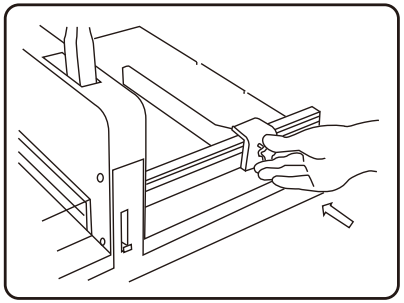
品　　名	事務用断裁機		
品　　番	No.601N	No.603N	No.615
本体外形寸法	W555㎜×D520㎜×H372㎜	W555㎜×D550㎜×H372㎜	W615㎜×D610㎜×H372㎜
本体重量	27.0㎏	29.0㎏	35.0㎏
断裁幅	380㎜（B4判長辺）	410㎜（四六判八ツ切長辺）	470㎜（A3長辺）
断裁能力	40㎜（PPC用紙430枚）		
付属品	T型ボックスレンチ …… 1本 プラス・マイナスドライバー…… 1本		

※断裁能力は、64g/㎡のPPC用紙を使用した場合の目安です。

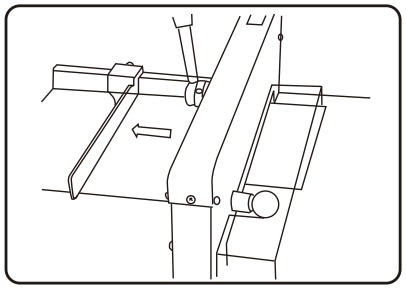
使用方法



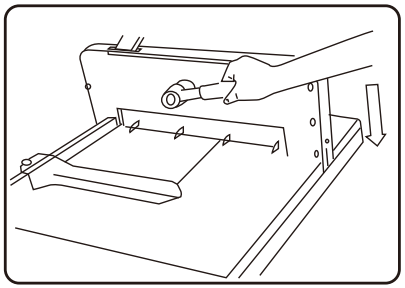
1 安全装置がロック状態（カチッと音がするまでハンドルを押し上げる）であることを確認してください。



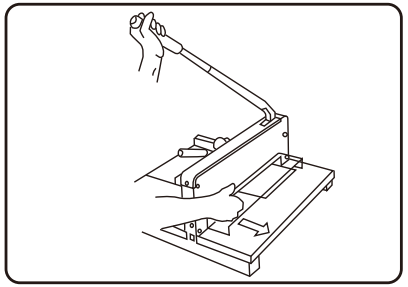
2 紙あて定規ツマミをゆるめます。紙あて定規をガイド板に沿わせて、必要な断裁寸法の位置に正確に設定します。紙あて定規ツマミを固定してください。



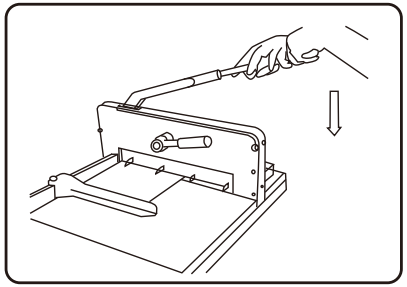
3 裁断する用紙をセットし、紙あて定規にあてます。スケール側にはあわせないでください。（断裁寸法は、ガイド板のスケールにより読みとることができます。寸法は、断裁刃からの寸法です。）



4 クランプレバーを手前にまわし用紙をしっかりと押さえつけてください。



5 安全カバーを閉めてから左手でハンドルを持ち、右手で安全ピンを図の⇨方向に引いて、ロックを解除してください。



6 ハンドルを両手で握りゆっくりおろし、裁断してください。裁断が終わりましたら、安全装置が作動するまで（カチッと音がするまで）ハンドルを押し上げてから安全カバーを開け、用紙を取り除いてください。

使用上のご注意

- 裁断する時は、両手でハンドルを操作してください。刃の下には絶対に手を入れないでください。
- 裁断が終わりましたら、ハンドルをストップするまで押し上げて、安全装置をロックの状態にしてから安全カバーを開けてください。

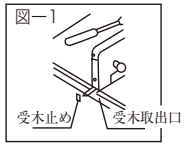
受木の交換方法

⚠注意 交換の際は、刃先にふれないよう十分注意してください。

受木は、両面、左右入れ替えにより1本で4ヶ所使用できます。
受木が使えなくなった場合は、品番にあった受木を別途お買い求めください。

1. 使用方法1.（P3参照）にならってロック状態にしてください。
2. 受木止めをはずします。受木押出口よりドライバー等で受木を押し、受木取出口より受木を取り出してください。（図ー1）
3. 新しい受木、もしくは今まで使用していた受木の面を替えて、セットしてください。
4. 受木止めを取り付けてください。

図ー1



断裁刃の研磨について

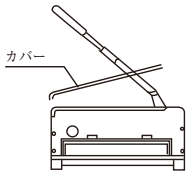
いつも良い状態でより良くお使いいただくために、摩耗した刃は研磨(有料)をおすすめいたします。
お買上げいただいた販売店へお申し付けください。
ただし、研磨できる回数には限りがあります。寿命と思われる場合は、品番にあった替刃を別途お買い求めください。

断裁刃の交換方法

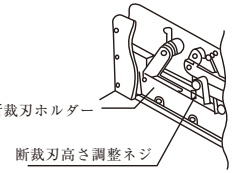
⚠注意 刃物ですので取り扱いには十分注意してください。

1. レバーを上げてロック状態にします。（使用方法1.『P3』参照）
2. カバーのカバーとめネジをプラスドライバーで外し、カバーをとる。（図2）
3. 断裁刃高さ調整ネジ(2本)を断裁刃ホルダーの上から2㎜程度出るようにゆるめる。
4. ロックを解除し、断裁刃を受木に当たるまで完全に下ろして下さい。
5. 断裁刃取り付けボルト(5本)を、T型ボックスレンチでゆるめてはずします。（図-4）
6. レバーを少しあげて、断裁刃ホルダーを1cmほど上げる。
7. 断裁刃を断裁刃取出口から取り出す。（図5） ※断裁刃が落下しないように注意してください。
8. 受木交換をする（上記受木の交換方法参照）
9. 断裁刃ホルダーを１cm程上げた状態で、新しい又は研磨した断裁刃を断裁刃取出口より挿入する。
11. 断裁刃ホルダーのボルト穴と断裁刃のボルト穴が合うように、断裁刃ホルダーを完全に下げ、断裁
12. 刃取付ボルト(5本)をT型ボックスレンチで軽くしめてください。
13. 断裁刃ホルダーを上げてロック状態にし、断裁刃高さ調整ネジ(2本)を断裁刃にあたるまで締めてください。
14. 用紙を１枚断裁して、受木と断裁刃が平行になっているか確認をします。（平行であればきれいに断裁でき、平行でなければ断裁できない箇所があります。）
15. 平行でない場合は、断裁できなかった方の断裁刃高さ調整ネジを締めて平行になるよう調整します。
16. 断裁刃ホルダーを下げて、断裁刃取り付けボルト(5本)をT型レンチボックスでしっかりしめる。
17. カバーをはめて、カバー止めネジをプラスドライバーでしめます。
18. レバーを上げてロックッ状態にして終了です。（使用方法1.『P3』参照）

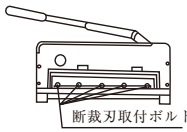
図ー2



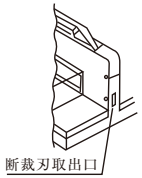
図ー3



図ー4



図ー5



修理を依頼される前に

修理を依頼される前に、下記内容にそって確認してください。

1. きれいに裁断できない。
   ◎受木の切り取り跡が深くなりますと、刃の切れが悪くなります。
   〈受木の交換方法〉に従い、受木を替えてください。
   ◎断裁刃が欠けているか、摩耗しているおそれがあります。研磨もしくは交換をしてください。

2. 裁断した際、数枚切れないで残ってしまう。
   ◎〈断裁刃の交換方法9〉に従い調整してください。

3. ハンドルが下までさがらない。
   ◎裁断する用紙にクリップやステープラ針など硬いものがついてないか、確認してください。
   ◎ホコリが機械部分にたまっているおそれがあります。お買い求めの販売店へ、点検および修理をご依頼ください。

4. 用紙のどちらか一方が裁断できない。
   ◎断裁刃と受木が平行になっているか確認してください。
   〈断裁刃の交換方法9〉に従い、調整してください。

お手入れ方法

- 本体の汚れがひどい場合は、うすめた中性洗剤で拭き取り、洗剤分が残らないよう水拭きして、最後に乾拭きしてください。
- シンナー、ベンジン、アルコール等は使用しないでください。

その他

- ご使用中、本体に異常が生じた場合は、もう一度この取扱説明書をよくお読みいただき、それでも故障と思われる場合は、お買い求めの販売店へ修理を依頼してください。
  修理によって、機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理させていただきます。
- この製品を譲渡、又は貸し出しされる場合は、この取扱説明書も一緒にお渡しください。
- 修理、その他ご不明な点については、お買い求めの販売店もしくは、下記のフリーダイヤルまでご連絡ください。

お客さま相談室
フリーダイヤル
（全国共通） 0120-074416

株式会社ライオン事務器